

令和5年第3回臨時会

大江町議会会議録

令和5年 7月3日 開会
令和5年 7月3日 閉会

大江町議会

和5年第3回大江町議会臨時会会議録目次

○招集告示	1
○応招・不応招議員	2
第 1 号 (7月3日)	
○議事日程	3
○本日の会議に付した事件	3
○出席議員	4
○欠席議員	4
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	4
○本会議に職務のため出席した者	4
○開会の宣告	5
○開議の宣告	5
○議事日程の報告	5
○会議録署名議員の指名	5
○会期決定	6
○議案第45号の上程、説明、質疑、討論、採決	6
○閉会の宣告	22
○署名議員	23

大江町告示第41号

令和5年第3回大江町議会臨時会を次のとおり招集する。

令和5年6月28日

大江町長 松田清隆

1 日 時 令和5年7月3日 午前10時

2 場 所 大江町議会議場

3 附議事件

- ・令和5年度柏陵広場整備工事請負契約の締結について

○応招・不応招議員

応招議員（10名）

2番	菊地邦弘君	3番	藤野広美君
4番	櫻井和彦君	5番	関野幸一君
6番	毛利登志浩君	7番	宇津江雅人君
8番	伊藤慎一郎君	9番	結城岩太郎君
10番	土田勳一君	11番	菊地勝秀君

不応招議員（なし）

令和5年第3回大江町議会臨時会

議事日程(第1号)

令和5年7月3日(月)午前10時開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期決定

日程第 3 議第45号 令和5年度柏陵広場整備工事請負契約の締結について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員（10名）

2番	菊地邦弘君	3番	藤野広美君
4番	櫻井和彦君	5番	関野幸一君
6番	毛利登志浩君	7番	宇津江雅人君
8番	伊藤慎一郎君	9番	結城岩太郎君
10番	土田勵一君	11番	菊地勝秀君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	松田清隆君	副町長	桃井亮一君
教育長	清野均君	総務課長	五十嵐大朗君
政策推進課長	鈴木利通君	地域振興課長	清水正紀君
税務町民課長	阿部美代子君	健康福祉課長	伊藤修君
農林課長	秋場浩幸君	建設水道課長	櫻井洋志君
教育文化課長	西田正広君		

本会議に職務のため出席した者

議会事務局長	金子冬樹君	議会事務局 庶務主任 兼庶務係長	庄司由利君
--------	-------	------------------------	-------

開会 午前10時00分

◎開会の宣告

○議長（菊地勝秀君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は全員です。

定足数に達しておりますので、令和5年第3回大江町議会臨時会を開会いたします。

◎開議の宣告

○議長（菊地勝秀君） これから、本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（菊地勝秀君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

なお、暑い方は上着を脱ぐことを許可いたします。

◎会議録署名議員の指名

○議長（菊地勝秀君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、大江町議会会議規則第126条の規定により、

2番 菊地 邦 弘 君

3番 藤野 広 美 さん

を指名します。

◎会期決定

○議長（菊地勝秀君） 日程第2、会期決定の件を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、さきの議会運営委員会での協議に基づき、本日1日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（菊地勝秀君） 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は本日1日間に決定しました。

お諮りします。

議案書が事前に配付されているものについては、審議の際の議案の朗読を省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（菊地勝秀君） 異議なしと認めます。

よって、事前に配付されている議案の朗読は省略いたします。

◎議第45号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（菊地勝秀君） 日程第3、議第45号 令和5年度柏陵広場整備工事請負契約の締結についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

松田町長。

○町長（松田清隆君） おはようございます。

議第45号 令和5年度柏陵広場整備工事請負契約の締結について、ご説明を申し上げます。

本工事につきましては、去る6月20日に指名競争入札による入札を執行した結果、大江町大字左沢1201番地の1、株式会社大泉組、代表取締役大泉雅裕が落札をいたしました。消費税を含む2億570万円で請負契約を締結したいので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議決を要することから提案するものであります。

なお、本工事は令和6年度までの債務負担行為を設定して実施するもので、工期は令和6年8月31日までとしております。

詳細については担当課長より説明をさせますので、ご審議の上、ご可決くださいますようお願いを申し上げます。

○議長（菊地勝秀君） 担当課長の詳細説明を求めます。

櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） おはようございます。

議第45号の詳細について、ご説明を申し上げます。

柏陵広場整備事業につきましては、5月19日の全員協議会において議員各位に事業内容をご説明させていただきました。

また、6月2日に藤田区民を対象とした事業説明会を行い、地元住民の皆様から様々な意見をいただいております。これらの意見につきまして、現在検討しているところではございますが、道の駅のオープンに合わせて、柏陵広場の利用開始を前提とし、工事と並行して議会や地区から出されました意見の整理、あとは財源調整などを進めてまいります。

このたびの契約を締結する工事の内容としましては、全体平面図を資料1-1に示しておりますけれども、既存の旧柏陵荘の建物を解体した後に、ファミリー層向けの公園広場を整備するもので、柏陵広場の北側を中心に、資料1-2になりますけれども、こちらのほうに示す大型複合遊具をはじめとした各種遊具を設置するほか、伸び伸びと遊ぶことのできるゆとりのある広場、町産西山杉材を利用しましたあずまややパーゴラ、ミスト噴水、あと、広場専用の駐車場など、道の駅おおえとテルメ柏陵の中間に位置する柏陵エリアの拠点施設として、また、同エリアの回遊を促すためにも欠かすことのできない重要な施設として位置づけをしまして、整備するものでございます。

今後の工程につきましては、8月から12月中旬をめどに、旧柏陵荘等の既存施設の解体工事を行うこととしています。12月中旬から年末にかけては敷地造成、年の初めから来年の春にかけて大型遊具等の製作を行いまして、今年度末からは順次、排水施設整備工や園路整備工、植栽、遊具の据付けなどを施工し、8月完成を見込んでおりますけれども、先ほど申し上げたとおり、様々な意見の反映などの対応についても検討しておりますので、工程に変更が生じることもあるかもしれませんが、工事の遅れが発生しないように進めていきたいと考えております。

また、検討内容については、適切な時期にご説明させていただきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

本工事に係る契約事務につきましては、6月20日に指名業者3者による入札を行った結果、

株式会社大泉組、代表取締役大泉雅裕が消費税を含む2億570万円で落札し、6月22日に仮契約を締結したところでございます。

なお、工期については、令和6年8月31日を完成期限としております。

詳細説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（菊地勝秀君） 議第45号の質疑を行います。

5番、関野幸一君。

○5番（関野幸一君） 5番、関野です。

今、課長から説明いただきました。これまでにないような真摯な回答、説明でありまして、議会、また、区民からの意見を考えながら、その中でやっていくというような本当に前向きな回答というか、説明をいただきました。

その中で、一つ、二つ、課長が言ったこととかぶりますけれども、確認のために説明させていただきたいと思います。

まず、工事が始まるということで、始まってから様々な変更等が可能であるかというのが、先般の全員協議会で議員数名から様々な意見が出されたということは、町長並びに課長も承知の上だと思えます。その中で、まず大型遊具、その他、遊具に対する危険性、遊具の管理体制、その他いろいろなことが質問されました。その中で、そのことを一つ一つ考えながら、今回こういうふうなことで課長の説明にもあったとおり、いろいろ考えながら、工事途中の設計の変更なども考えながら行うということの答弁をいただいております。そういうことで一つ、我々の議会の声、地区の声というのがこの事業に響いてきたのかなと思っております。

そういうふう言いながらも実際問題、この柏陵広場に関しては、本当に公園という形の広場でいいのか、もっと別の使い道があったのではないかなど、様々な意見が出ているのも確かであります。例えて言いますと、今、道の駅と同時にオープンするというような考えがあったと思えます。その中で、今回頂いたこの資料1の工事の平面図ですけれども、前回の全員協議会でもらった資料と全然変わりなく、そのまま出されてきたものだと思っております。本来であれば議会の声、また、地区の声を聞いているのであれば、こういうところをこのように変更したい、こういうところをこういうふうにしたい、こんなものではどうだろうかと持ってくるのが本来であると私は思っております。その中で、変わらずそのまま出してきたということは、課長には大変申し訳ありませんけれども、先ほど言った地区の声、議会の声を聞きながら、様々なことを検討しながら工事を進めていくということが果たして本当の心なのか、それを今一、考えなければならないのではないかと思っております。本来であ

れば、若干の変更が出てくる。こういうものをして、ああいうものもしたいということが出てきて、これは当たり前ではないのかなと思っております。

先ほど、ちょっと道の駅のオープンということに触れましたけれども、道の駅にはバックヤードに13台、14台の駐車場が用意されております。そこは聞くところによりますと、道の駅のスタッフ並びに農産物を搬入する方の車置場ということのやつで整備をするということになっておりますけれども、本来であれば、そこは搬入する方の駐車場に使うべきだと思っておりますし、道の駅のスタッフの駐車場は、せつかくここに駐車場というものを取っているのであれば、もう少し駐車場の枠を広げながら、そこに道の駅のスタッフの車を止める。こういうことなども考えながら、一緒にそういうふうに道の駅と一つになった整備を考えていくべきではないかと私は思っております。

そこで、今言ったようなことに対して、課長からはどういうふうな考えがあるのか、一旦まずお考えを聞きたいと思えます。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 議会のほうには5月19日、地域のほうには6月2日ということで説明会をさせていただき、様々なご意見を頂戴しております。その中で、やれること、やれないことの整理、あるいは予算的な部分も含めてちょっと検討が必要だというようなことで、これについては発注後になりますけれども、その中でやれる、やれない、どういったやり方があるのかということも含めて検討した上での対応になるのかなということで、やはりお尻が決まっているというようなことも含めて、そういった対応をさせていただいたというような状況でございます。

あと、道の駅の駐車場の関係になりますが、道の駅との、お客さん、利用する方の回遊性という部分では、様々な考慮するところではありますが、そのバックヤードの関係については、ちょっと今想定しておりませんので、そこも様々な考え方が出てくるのかなというようなことで、感じ取らせていただいたところであります。

○議長（菊地勝秀君） 関野幸一君。

○5番（関野幸一君） バックヤードの件というのではなくて、駐車場を結局、道の駅でスタッフが利用できるようなスペースを取ったらいいんじゃないですかということの提言であります、これは。というのが、その公園広場で遊ぶ方だけの駐車場というような形にこれはなっていると思うんですけれども、ここの場所を見ると、これ本当に南側にあるんですけれども、このところに県のアパートがあつて、なかなか日も差さない、そういうところであり

ますので、もう少しスペースを取る、あとはスタッフの駐車場をここに設けたらどうですかということの話であって、バックヤードがどうのこうのではなくて、公園の利用の一つとしてそういう使い方もあるのではないですかという話であります。

あとですね、もし仮に、仮にというか来年、公園ができましたと。そのときに、ここを管理、運営ということはなかなかないと思うんですけども、管理はどのように考えているか。全協でもなかなか、管理に関しては今からですとか、運営に関しても今からですみたいな話があったんですけども、その話も全然ありませんので、その辺のところはどういうふうに考えているのでしょうか。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 大変失礼しました。

道の駅スタッフの駐車場というような区分に関しまして、ちょっと私のほうも想定していなかったというところもあります。また、台数がどのくらいになるのか等々、出てくるかと思いますので、関係課とも話をした上で、その必要性も踏まえて対応させていただく必要があるかなと思っております。

あと施設の管理に関しましてですが、こちらの公園については、収益を伴うような施設ではないというようなこともありますので、私としては指定管理者制度にはそぐわないのかなと思っております。そういったことから、様々な施設の管理の部分については、直営あるいは業務委託というような形の中で調整をさせていただければなというふうに、現在のところ考えているところでございます。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 関野幸一君。

○5番（関野幸一君） ありがとうございます。

管理という部分の考え方が、ちょっと課長と私がずれているんですけども、指定管理というものじゃなくて、いわゆる、公園ができたら当然、草刈りしたりとか、木の刈り込みをしたりとか、そういういろいろなことを、私は取りあえず、この広場に関してはお聞きしたいなと思っておりました。というのが、今、町内に多くの公園がありますけれども、公園を見てみますと、なかなか手入れがされていないというか、手が入っていない。枝は伸び放題、草は伸び放題みたいところがあって、言われると業者の方が入ったりとか職員の方が入って草刈りをするという、そういう感じの整備になっているのかなと。言いたくはないんですけども、そういう感じかなと思っております。

その整備の中で、もう一つ気にかかることがあったんですけれども、噴水なども造ってということがあったんですけれども、噴水を造るのはいいんですけれども、ふれあい会館のように水が出なくなったからといって、いつまでも放っぼり出しているような、そういうものであれば、そういうものも省くべきじゃないかと思っておりますし、何でもかんでも造って、その後、様々な経費がかかります。そういうものに対して、きちんとそういう数字も出しながら、こういうものを造りたい、あれも造りたいというものも言っているのか。ここにミストなんていうのもあるんですけれども、何のためにこのミストも必要なのか。そういうものも、やっぱり様々と検討して、本当にこの案を出してきたのか。ちょっと納得できないというか、考え方が違うんじゃないかなというふうに思っております。

正直、本当にこの広場が必要なのか。そこまで来ると思います。柏陵エリアは、エリアとしての開発をお願いしているわけでありまして、道の駅、広場、温泉、その都度その都度の開発ではなくて、トータル的に考えていく開発をやっぱりしていかなければ、お金もかかるし時間もかかるし、なかなかうまくつながらないと思っておりますので、その辺のところをトータル的に考えて、課長と、あと最後に町長からも一言いただきたいと思っております。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 最初に、管理の関係についてでございますが、私のほうもちょっと説明不足で申し訳ないです。

こちら、公園できたことを考えますと、樹木関係ございますので、そういった部分について、樹木の剪定とか、例えば葉っぱが落ちたというような部分とかの対応についてになりますが、直営あるいは、物によっては業者への管理委託というような部分で想定しているというようなことで申し上げたところでございます。

あと、公園でいいのかというような部分でございますが、その前に噴水でございますけれども、こちら、循環式の噴水ですと様々、機械の不具合とか衛生的な部分というようなことがちょっとありますので、今回はミスト型ということで、直接水道のほうから吹き出すというような形の中でのものというようなことで検討をさせていただいたところです。

それと、エリア。公園というような整備でいいのかというようなことですが、道の駅ができてから、テルメ柏陵というようなことでのエリア全体で子育て世代を受け入れると、活性化につなげるというような柏陵エリアの整備構想を立てさせていただいたというようなことです。その中では、子育て世代を大いに取り込むというようなこと、あるいはそれが大江町内に波及するというようなことも含めて、こちらのほうについては、そういった理念の中で

考え方をまとめてきたのかなと思っておりますので、それに沿った形で今回の整備を考えているというようなことをございますので、よろしく願いいたします。

○議長（菊地勝秀君） 松田町長。

○町長（松田清隆君） 関野議員からは、このたびも、これまでも、何度か柏陵エリア全体の構想というふうなことで物事を進めるべきではないかというご意見をいただけてきました。関野議員ばかりではなく、そういった意見もあることも十分に承知をしております。これについては一度、若手の職員による全体の整備構想の絵を描きながら、一度、全員協議会等でも説明をさせていただきました。それは、完全にこういうふうな計画で年次的に整備をしていくという案ではございませんが、その構想の中には様々な夢や、こういったことができればいいのではないかというような意見も含めての報告をさせていただいたところでありませ

お金が幾らでもあるわけではありません。限られた財源の中で、どこをどういうふうにつなげていき、柏陵エリア全体をにぎやかにしていくか。そして、町民が楽しめる場所、県民が楽しめる場所、そういうものにしていくかというふうな課題をずっと追いかけております。その中でも、今回の道の駅の開発を一つの節目として、道の駅の中でも、意見交換でターゲット世代を、層を、どういうふうな形で決めていくかというような中では、高齢者層の時間に余裕のあるような方々ももちろんですが、若いファミリー層の方々の活用というふうなものも促していくような楽しめる施設としていかなければならないのではないかというご意見もありました。そんな中で、施設全体の中には……。道の駅のことです。施設全体の中には芝生広場などを造って、親子が楽しめるようなスペースも準備しておりますが、スペースの関係でなかなか、家族で遊べる、子どもたちがゆっくりと楽しめる、そんな部分が欠けているのではないかというふうなことであります。

そして、先ほど説明にありました温泉施設と道の駅をつなぐような場所であるというふうなところから、家族がそろって楽しめるような施設であれば、道の駅の利用者も温泉施設も、それぞれが相乗効果を生み出すような、そんな施設として公園整備がいいのではないかというふうなことで結論に至ったところです。それがベストであるというふうなことを言われる方もいますし、ベターであるというふうな方もいらっしゃるかもしれません。また、全く別な角度から考えられる方もいるかもしれません。ただ、これまで予算の中で柏陵エリアの開発、そして今回の公園整備というふうなことは、ご説明をその都度しながらやってはきたところではありますが、説明の不十分などがあるのではないかというご指摘は、一部その部分もかなりあるのかなというふうに思います。ここの部分については、先ほど建設課長のほ

うからありましたように、今後の工事の中でいろんな場面を想定して相談をしていき進めていきたいと、こういうことで工事を行っていきたいと考えておりますので、これからもその辺の検討を重ねていって、よい公園を造っていきたい、そんな思いでいるところであります。

○議長（菊地勝秀君） 6番、毛利登志浩君。

○6番（毛利登志浩君） この前の道の駅の再整備の中での事業13億と、あるいは7日にグラウンドオープンする石風呂、これが3億というようなことで、また今回、2億円というふうなことで、柏陵地区の開発がかなり大規模な事業になるというふうなことで、大いに町のための観光、あるいは交流人口のための施策というふうなことで、大いに期待をしたいと思えます。

そこで、今回の請負金額の2億570万円ですが、果たして、この設計金額に対して何%の請負になったのかと。

それから、予定価格も含めて入札の請負率というのは幾らになったのかお聞きしたいと思います。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 設計金額が、消費税込みになりますが、2億828万5,000円です。今回の契約落札額が、2億570万。消費税込みになりますが、その金額になります。落札率としては、98.76%。98.8%というような形になります。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 毛利登志浩君。

○6番（毛利登志浩君） 落札率については理解をしたわけでございますけれども、道の駅もそうですけれども、当然、設計金額があって、そして、元請というのかな、請負業者がいて、そして今回は解体工事もあるというふうなことの中で、下請というものは当然出てくるのではないかなというふうに思うんですけれども。

設計金額があって、元請がいて、そして下請があるというふうな中で、その下請を選定するために当然、設計者と元請が協議施工をするんだろうと思うんですけども、下請計算書となるものはどういう形で、審査を受けるのかどうかというものを総務課長にお聞きしたいと思います。

○議長（菊地勝秀君） 五十嵐総務課長。

○総務課長（五十嵐大朗君） 下請を出した際には、当然、書類として町のほうに提出していただくこととなりますけれども、そちらにつきましては、発注の担当課のほうか、総務課の

ほうにも回覧しまして、それが適正であるかをチェックすると、そういった体制にはして
おります。

○議長（菊地勝秀君） 毛利登志浩君。

○6番（毛利登志浩君） ということは、担当課の中でその下請業者というものを審査する
というふうに理解してよろしいということだと思えますけれども、なぜこういうことを聞く
かという、要するに、こういうふうな20億近い金額が藤田地区に投下になるということで
非常にいいことなんですけれども、今回は町の業者、そして、道の駅については共同体とい
うことで、非常に町の業者が頑張ってくれたなということで喜んでいるわけなんですけれども、
下請の場合も当然、町でもできる業者というのはかなりの業者がいるというふうに思え
ますよ。ということで、できないとは思いますが、要するに、町の業者が下請に入れ
るような助言などもあってもいいのかなと私は思うんですが、その点について、回答で
きないと思いますが、私的というか考え方の中で答えてもらえればありがたいなとい
うふうに思いますが、町長はどう思いますか。

○議長（菊地勝秀君） 松田町長。

○町長（松田清隆君） 下請の承認申請のような形で出てくるわけなんですけれども、形式的な審
査をした中で、あとは業者さんの経営状況なども見た中で、可能かどうかというふうなこ
とで判断をしていくというふうになると思います。基本的には、形式的にそろっていれば特に
大きな問題がないというふうなことになるのかなと思いますが、町の業者をというふうなこ
とで、こちらのほうで名指しといいますか、指名というふうな形にはできないと思いま
す。そこは業者さんのほうに、その町としての考え方は伝えられるのかなと。というのは、町の
業者さんを使っただけであれば町の経済は回っていくというふうなことにもなりますので、
そういったことも考慮した中でというふうなお話ぐらいまではできそうな気がしますけれ
ども、それぞれの個別の案件ですので、その辺は個別に対応していくしかないのかなとい
うふうに思います。

○議長（菊地勝秀君） 3番、藤野広美さん。

○3番（藤野広美君） 3番、藤野です。

資料1-1ですけれども、公園には定番のブランコというものがないように見られます。
説明会に行った方の中からも、ブランコないんだねというふうに残念がっている声も聞こ
えてきておりますので、設計に入れてほしいという打診はしたのかということの一つ、まずお
聞きしたいということ。

あと、資料1-2を見ると分かると思いますけれども、スイング遊具という中に4つぐらい出ていますが、この中の2つ、コアラというのと、ぷくちゃんというのは、尻が上がっているように見えるんですね。普通、子どもたちが遊んでいる姿をよく見かけるんですけれども、1人で乗ったり、2人で乗ったりとか、自由に遊びたいという感覚があるようで、この尻が上がっていると子どもが乗りづらいんじゃないかなというふうに思えるところがあるので、その考えはどうかということ。

あと、今年度は予算9,400万というふうに出ていたと思いますけれども、解体と敷地造成で終わるのかということもお聞きしたいと思います。遊具は来年度の設置というふうに考えるのかお伺いします。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 3つ、ご質問をいただきましたので、一つずつご回答したいと思います。

まずはブランコに関してでございますが、ちょっと様々な遊具を検討する中で、ブランコについては通常の公園等々で多く見られるわけなんですけれども、やはり振りが大きいということで、小さな子どもが横切るといようなケース、そんなところもあって、ちょっと危険ではないかというような意見等も内部のほうでありましたので、そういった観点で今回の中には含めていないというふうなものでございますが、その辺についても、どうしても定番のブランコというふうな形になりますので、スペース的な部分、そういった部分も含めて検討をさせていただきたいなと思います。

あと、資料1-2のスイング遊具でございますが、こちらについては基本的に1人乗りというふうなことで想定をしてのイメージの写真になっております。当然、2人乗りとかというと、体重制限とか、そういった使用年齢の制限等々ございますので、そういった部分もデザインに関しては関連してくるわけなんですけれども、そういった部分も含めて対応できるものなのかどうかということについては、検討させていただきたいと思います。

あと、今年度の予算が1億680万でございますけれども、来年度の債務負担と合わせての今回、発注というふうなことになっております。工事の内容については、今ある柏陵荘の建物の解体、それと遊具の設置というところまで含めて工事のほうを発注というふうな形でしておりますので、今年度については柏陵荘の解体、あと、遊具については工場のほうで作成をして、雪解けた頃になるかと思いますが、現場のほうに持ち込んで設置というふうな形になるかと思っております。

以上、よろしくお願ひいたします。

○議長（菊地勝秀君） 藤野広美さん。

○3番（藤野広美君） ありがとうございます。

ブランコはやっぱり定番でもあるし、みんなあったらいいなという声があるということも踏まえて、特注の今回、大型遊具で船の部分の形をしている船首とか帆の部分とかとあると思うんですけども、やっぱりそこも入れつつ、ブランコはぜひお願ひしたいなというふうに思いますので、検討をよろしくお願ひしたいと思います。子どもたちは1か所で遊ぶということがあまりないですね。いろんなところを回って、また元に戻ってというふうな遊び方をするというところもあるので、そこはよろしくお願ひしたいと思います。

あと、全員協議会でですが、トイレがこの敷地内にないねというふうに質問をさせていただきました。やっぱり高齢者の方がお孫さんと来るとか、ちっちゃい子どもなんかはトイレが間に合わないということも出てくると思うんですね。なので、道の駅を使っていただく予定だというふうな説明はありましたが、敷地内にやはりトイレはあったほうがいいんじゃないかなという思いがありますので、その辺はどのようにお考えかをお伺ひします。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） トイレの件につきましては、我々としても当初からトイレの必要性について様々検討してきたところなんです。あと、議員の全員協議会、あと地区のほうからの意見としても、トイレの必要性については話としてございました。トイレのどういった様式、男女にするのか、多目的というような部分にするのか、あと兼用というような形にするのか、様々あるかとは思いますが、こちらについては限られた予算の中での対応を考えますと、かなり費用がかかるというような施設になります。そういった部分。

あとは、道の駅のトイレとの距離の関係。そういった部分も十分に踏まえた中で、今後、引き続き検討させていただきたいなと思っている事項でございますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（菊地勝秀君） 藤野広美さん。

○3番（藤野広美君） トイレは最初から、きちんとした計画の下に造っていかないと、後で、やっぱり造ったほうがよかったねというふうになるというのはよろしくないと思います。ぜひ、ここは地区の方の要望もあるということなので検討していただきたいというふうに思います。

あと工期なんですけど、先ほど8月31日というふうな説明があったと思います。設計当初の

段階はゴールデンウィーク目指してというふうに説明を受けたような記憶があるんですね。ゴールデンウィークだったら人がいっぱい来て交流人口も増えるなどか、民間意識で、工期頑張ってるんだなというふうに思って嬉しく思っていたんですが、今、8月31日ということをお聞きして、お盆にはならないのでしょうか。やっぱりお盆はお客さん、いっぱい来ると思うんですよ。そこをぜひ考えて、2週間前倒しで頑張ってる、工期はお盆というふうにならないのかなということと、あと資料の一番下のほうに、図ではちょっとちっちゃくて見えないんですけども、積雪1メートル以上になった場合は、除雪または雪囲いをしてくださいというふうな文言が書かれています。この辺の管理等は行政で考えているのかをお伺いします。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 工期につきまして、当初、できるだけ早くというようなことで、ちょっと検討してまいりました。ゴールデンウィークあたりに一番にぎやかになるということも理解しておりますので、そういったタイミングということも検討してきたんですけども、どうしても工事の内容等々について設計の段階で打合せしている中では、植栽とか、そういった部分、どうしても春になってからというのは、雪解けてから対応すべきところも数多くあるというようなことで、8月31日というような設定をさせていただきました。これによらず、早めに工事が終わればというところはございますが、今のところ31日ということではさせていただきますと思います。

あと、除雪に関しまして、遊具等になりますけれども、こちらについては全員協議会のほうでも話ございましたが、やはり遊具の破損ということが考えられますので、雪囲い等々については町のほうで対応するというようなことで基本的には考えているところでございます。以上です。

○議長（菊地勝秀君） 9番、結城岩太郎君。

○9番（結城岩太郎君） 柏陵広場の整備工事ということで、今、議論しているわけですが、町民の憩いの広場、あるいは児童の遊び場、家族がみんなで楽しめる公園として整備するということではありますが、先ほど関野議員もありましたけれども、公園の維持管理費ですね。これが年間どのくらい維持管理費を見込んでいるのかということをお聞きしておきたいというふうに思います。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） こちらのほうの施設の維持管理費でございますが、様々なご

意見をいただく中で、いろんな選択をせざるを得ないところもございます。

また、直営でできる範囲、あとは、業者のほうに委託が必要なところという部分もありますので、そういったものをきちんと詰めた上で、維持管理費についてはお話できる状態になるのかなと思っておりますので、今の段階では、幾らというところまではちょっと申し上げられないのかなと思っております。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 結城岩太郎君。

○9番（結城岩太郎君） ありがとうございます。

平常時は近隣の人の憩いの場というふうに、あるいはレクリエーションの場ということになるわけですが、災害発生時には、人々の命を守るために防災拠点としての役割を担う公園が最近、近隣にも多くなってきているんですね。

例えば、耐震性の貯水槽を断水なんかした場合にということ併願する。あるいは、マンホールトイレとか、あるいはかまどベンチとか、防災ヘリポートとか、そういうものを備えた公園というのが最近は多くなってきているんですけれども、その辺、そういった防災的な機能を備えた公園の検討というのはなされなかったのかということでお伺いしたいと思います。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 防災拠点としての広場というようなことでの検討がなされたかというようなご質問でございますが、当然、町のほうとしても様々な、先ほど申し上げられましたようなマンホールトイレとか、そういった部分に、そういったものを設けられないのかというような話もございました。

ただ、道の駅については、そういった防災拠点というような部分の位置づけ、あとテルメ辺りについても、これまでも避難された方もいらっしゃるかと思いますが、こちらのほうについては、そういった部分を、整備というような中では考えておりませんが、広場について、そういったテントサイトとか、そういった部分になるような形の中で対応できるのかなというようなことでは考えさせていただいたところでございます。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 8番、伊藤慎一郎君。

○8番（伊藤慎一郎君） 伊藤です。

これだと2億の予算を計上、承認もらうわけなんですけど、町での例えば試算。例えば、何

にどのくらいかかるとか、例えば、解体事業にどのくらいかかるとか、あるいは整地にどのくらいかかるとかあると思うんですよ。その辺などをちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 今回の工事の内容について、柏陵荘の解体と公園整備というように大きく2つになりますが、解体に関しましては、2,800万円弱の費用が生じると。そうですね、2,800万弱というようなことで一応考えております。

あとは、そのほかの解体後の整備というような部分で、1億8,000万というようなことでの見込みでございます。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 伊藤慎一郎君。

○8番（伊藤慎一郎君） 私たち、こうやって予算出されて、何にかかるとか、何にどのくらいかかるとかというのは、やっぱり有権者というのかな、聞かれるんですよ。そんなにかかるとか。だからせめて、やっぱり入札も決まって、ある程度公表できるようになったら開示してもらいたいなとお願いしておきたいと思います。

それで、このたびの新しくできる公園とかというのは、大江町の立地適正化計画ということで、平成27年に令和6年度までの計画が上がっているわけですね。この計画ね。その中に基づいてやっていると思うんですが。だから、私もあのとき質問した記憶があるんですが、あそこ解体して片づけるというのは大変だなと思って、俺も一応心配していたんですよ。それで、この適正計画を立てて申請すれば、後で国からもそれ相当の支援なども受けられるということのをちょっと聞いた記憶がございますので、その辺の内容をお願いします。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 立地適正化計画については、昨年度策定したものでございます。こちらの事業については、その立地適正化計画に基づいて都市構造再編集中支援事業という国の事業になりますが、そちらのほうを活用して広場の整備を行うというような内容になっております。その整備を行うに当たって、既存の施設がある場合は解体しなければいけないと。その解体する費用についても、その支援の対象になるというようなことで、今回の、国庫としては2分の1になりますが、その費用を見ているというようなことでございます。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 伊藤慎一郎君。

○8番（伊藤慎一郎君） これから道の駅計画とかで、かなりあそこに事業予算をつぎ込むわ

けなんです、やっぱり議会から承認もらうには、ある程度、もうちょっと説明ちゃんとしてもらわないと。質問聞かないままにしておくのも、それも一つの方法だろうと思いますが。今日のことも、もっと聞きたいんですよ。例えば、解体2,800万。坪当たりどのくらいかかるのとか。あとそれから整地、どのくらいかかるのとか。あと設備、どのくらいかかるのとか聞きたいんですけども、もし開示できるようだったら、ある程度、開示してもらったほうが質問もなくなるのかなと思いますので、これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

それで、お金のほうは2億、全部支払い方法はどうなっていますか。最後にお願ひします。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 今回の契約なります2億570万。この4割について、工事の前払い金というような形の中で、今年度支払いをするというようなことで考えております。

それと、来年度については、工事完了後に残りの6割分というようなことで、お支払いというようなことで想定をさせていただいて、そちらについて予算のほうも計上させていただいているというような状況でございます。

○議長（菊地勝秀君） 宇津江雅人君。

○7番（宇津江雅人君） 7番。

まず、最初。ここ、子どもたちの遊び場というか、そういうことなんですけれども、この広場は柏陵広場とはなっているんですけれども、将来この広場を、名称を、子どもたちが遊ぶ場所でございますので、例えば大江ちびっこランドとか、大江わくわくランドとか、こういった一つの名称を考えてはどうかということですが、どのように考えておられるか。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） こちら今、柏陵広場ということで、こちらについては仮称でございますが、正式な名称として、都市公園として位置づける必要があるのかなと思っております。名称に関しては、まだこれからというようなことで、まだ何も想定していなかったというところもありますので、今後どういった形の中で名称を決めていくのかということは検討してまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○議長（菊地勝秀君） 宇津江雅人君。

○7番（宇津江雅人君） ぜひ工事を、進めていく過程において、いいネーミングをして、大江町にはこういう遊具、遊び場装置ができた、広場ができたんだというようなことをPRぜひしていただきたいと思います。

もう1件は、どこに行ってもというか、べにつこひろばとか天童げんキッズとか、いろん

な広場があるんですけども、そういうところに行きますと、必ず、その玄関というか入り口に、いわゆる遊具広場の見取図ですね、この中にはこういう遊具装置があるというような見取図の看板。この正面に看板などを、ぜひ予算の範囲内であれば設置していただきたいと思えます。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 櫻井建設水道課長。

○建設水道課長（櫻井洋志君） 看板に関しましては、都市公園としての注意書き、使用上の注意とか、そういった部分についても必要かと思えますので、それに合わせた形で、どういう形のものになるかはこれからですけども、そういったものも考えさせていただければなと思えます。

以上です。

○議長（菊地勝秀君） 5番、関野幸一君。

○5番（関野幸一君） 先ほど結城議員のほうから、管理をする金額はどのくらいだという話があったときに、今の段階ではまだ決まっていないというような話がありましたけれども、全協でも同じような質問が出たと思えます。約1か月間ぐらいたって、今回議案として出てきたときに、そういう質問の想定もしながら、やはりきちんと数字というものは用意していただきたい。これは今回の建設水道だけじゃなくて、ほかの課の皆さんに対しても全協を開いて、議案をもんで、その後、議案となって出てきて、様々な議員から質問等来ると思えます。そのときにはきちんと、やはり対応できるようなことをしていただきたいというのが、先ほどもありましたけれども、議会、あとは地区民の声を聞きながら今回はこれを進めていきたいというのであれば、そういうところもやはり真摯に受け止めながらやっていただきたいなと思っておりますので、今後、そういうところも含めながらやはり数字を出してくるといっても、今、伊藤議員からもあったと思えます。必要なことだと思いますので、しっかりとそういうことをやっていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。答弁は要りません。

○議長（菊地勝秀君） ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（菊地勝秀君） これで質疑を終わります。

討論を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（菊地勝秀君） 討論なしと認め、採決します。

議第45号 令和5年度柏陵広場整備工事請負契約の締結について、これを原案のとおり決定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

○議長（菊地勝秀君） 全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（菊地勝秀君） 以上で本臨時会に付議された事件は全て議了いたしました。

これをもって、令和5年第3回大江町議会臨時会を閉会いたします。

皆様、ご苦労さまでした。

閉会 午前10時55分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和 5 年 8 月 21 日

議 長 菊地 勝秀

署 名 議 員 菊地 邦弘

署 名 議 員 藤野 広美